

平成 31 年（2019 年）2 月 28 日

報道機関各位

クレジットカードの不正利用防止対策と IC 化の取組み状況について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 杉本 直栄）では、クレジットカードの「安全・安心」な取引環境を確保するため、ネット取引における本人認証の推進やクレジットカード情報の流出を防ぐためのカード情報管理強化策の推進など様々な不正利用防止策を講じております。

この一環としてクレジットカードの IC 化率を「2020 年 3 月末までに 100%を目指す」という目標を掲げ、業界を挙げて推進に努めております。

2018 年 12 月末時点で、クレジットカードの IC 化の進捗状況を調べたところ、協会加盟のカード会社 258 社のうち、IC カード化を 100%達成している会社が 103 社でした。

また、調査対象会社の総発行枚数に占めるクレジットカードの IC 化の割合は 82.0%となります。

本年も同様の調査を実施し、クレジット業界の取組み状況について広くご理解いただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

※ 調査に係る注釈

- (1) 調査の実施主体：（一社）日本クレジット協会
- (2) 調査対象会社：協会加盟しているカード会社のうち対象カードを発行している 239 社
- (3) 調査対象とするクレジットカード：国際基準である「EMV 仕様」の接触型及び非接触型 IC チップを搭載したクレジットカード。

○本件問い合わせ先

一般社団法人日本クレジット協会 セキュリティ対策推進センター
〒103-0016 中央区日本橋小網町 14 番 1 号 住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

以上

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ